

People

"おもてなしの精神、心がけて"

2020年の東京五輪開催が決まり、にわかに活気づいた昨年。プレゼンテーションの場で、タレントでフリーアナウンサーの滝川クリステルさんが行った「おもてなし」のパフォーマンスは、流行語大賞にも選ばれ、いまだ記憶に残る。この日本独特の文化を取り入れ、注目を集めている弁護士が、長屋綜合法律事務所代表の長屋卓嗣氏だ。

「弁護士と聞くと、「先生商売」で、どこか近寄りたないイメージを持つ人も多くいらっしゃいます。このイメージをなくせないと考えていました」

こう話す長屋弁護士は関西学院大を卒業後、三洋電機（現パナソニック）に入社した。しかし「仕事に価値を見いだせなくなった」と、わずか1年で退職。その後弁護士の道を志し、07年に弁護士キャリアをスタート、事務所勤務を経て、昨年独立を果たした。

ワンコイン法律相談を実践

「とにかく気軽に弁護士を利用してもらいたい。そのためにはお客さんにどんなサービスを提供すればいいか、試行錯誤の連続です」

今、実践しているサービスが「ワンコイン法律相談」。これは「高い相談料を払ってまで相談すべき案件なのか分からない人も多く、利用者の方々もそのために相談を躊躇（ちゆうちよ）してしまおう。それなら初回の相談料を安く抑え、とりえず心の中のモヤモヤをお聞きしましょう……と考えたサービスです」と説明する。

明らかに弁護士に仕事を依頼しなければならぬケースであれば、何の問題もないが、「これって弁護士に相談すべき問題なのか……」と微妙なケースで悩みを抱える人も多い昨今。「ニーズはあるはず」とワンコイン（500円）での法律相談を取り入れた。ささいな悩み事で

長屋綜合法律事務所代表

長屋卓嗣弁護士



ながや・たくじ 関西学院大法卒。三洋電機（現パナソニック）を経て2007年司法試験合格。13年長屋綜合法律事務所開設。39歳。広島県出身。

計士・司法書士といった専門家とともに、問題解決を図っていく方針だ。

「自分の強みや特徴を最大限に利用してもらい、お客さんに幸せになって頂ければ。自利利他を実践するのが私の理想とする弁護士像」と話す長屋弁護士は「弁護士として法的知識を提供するのは当たり前のこと。プラスアルファ、「おもてなしの精神、でお客さんと接することは常に心がけていることで、自分の強みといえる部分」と言い切る。

対応の質を追求していく

長屋弁護士が模範とするのは、高級ホテル「リッツカールトンホテル」のホスピタリティサービスだ。世界一と称されるサービスの質は、満足をこえ、感動すら生み出し、利用する客をとりこにする。

この理念に感銘を受ける長屋弁護士は、「事務所に来ていただいたお客さんに、また相談したいと言ってもらえるように今後も対応の質を追求していきたい」と意気込む。

さらに「立場や肩書に縛られたくない」と、弁護士と依頼人という関係を越え、あくまで人と人として接する姿勢も大切に「お客さんとは常に対等な関係でいたい。弁護士だからと構えることなく気軽にアクセスしてほしい」と話す。

司法制度改革以来、弁護士の数は増加の一途をたどり、業界の現状は大きく変わりつつある。「付加価値のついたリーガルサービスを提供し、お客さまの満足度を高めることが当面の目標」ときっぱり。

能動的に企業経営サポート

も、気軽に相談に行けるメリットがある。多くの人に利用していただきたい」と呼びかける。

長屋弁護士が手掛ける業務は、個人であれば、離婚や遺産相続、交通事故など。法人では倒産案件や債権回収、規則整備、契約書チェック、労働問題など多岐に渡る。なかでも今後、力を入れて取り組んでいく分野は「企業案件」だ。

「顧問企業に対しては、トラブルの処理だけではなく、トラブルを未然に防

ための予防策などを提案。能動的に企業経営をサポートできるスタンスをとっていききたい」

事業承継や相続案件も積極的に取り組み、これらに対して連携する税理士・会

■長屋綜合法律事務所

▷所在地 大阪府大阪市北区西天満3の6の21 AXIS東梅田ビル1002号
 ☎06・6361・3010 FAX06・6361・3011
 ▷ホームページ <http://www.nagaya-law.jp>



ICHIHASHI

市橋織江展

ORIE

2001-2013

Exhibition

主催：彫刻の森美術館（公益財団法人 彫刻の森芸術文化財団） 後援：フジサンケイグループ
 協力：キャンマーケティングジャパン（株）/富士フィルムイメージングシステムズ（株）/サンケイ総合印刷（株）
 技術協力：（有）東京カラー工業社 / （株）フレームマン 企画協力：佐藤佳代子事務所 / ノーチャス号（株）

2013 12/14 sat - 2014 3/2 sun



独自の目線と色彩で
世界を切り取る。

www.hakone-oam.or.jp

彫刻の森美術館
THE HAKONE OPEN-AIR MUSEUM

■開館時間/午前9時～午後5時（入館は閉館時間の30分前まで）年中無休
 ■入館料金/大人1,600円、大学・高校生1,100円、中学・小学生800円、シニア（65歳以上）1,100円
 ※毎週土曜日はファミリー優待日（保護者1名につき小・中学生5名無料）
 ■お問い合わせ/0460-82-1161